

## 2021年度事業計画

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

2021年度は、新型コロナ感染の収束は未だ不透明で先が見通せない中でのスタートとなりますが、会員第一を念頭に、施設協会の基本的な役割である、①施設技術を「横」と「縦」に繋ぐこととともに、②公的な機関としての役割を果たしていくことを基本として、変化する状況を捉えて的確に対応していきます。

また、「新型コロナ感染症は社会の変革を加速する」と言われているように、世の中は大きな変革を余儀なくされています。協会運営においてもこの機会をチャンスと捉えて、将来とも私たちの役割を果たすことができるように更に改善を進めていきます。

### 1. 鉄道施設技術を「横」と「縦」に繋ぐ取り組み

- (1) 協会誌については、協会誌発刊 30 周年の機会に編集の抜本的見直しを実施してから 4 年が経過しました。昨今の世の中や会員のニーズの変化等を踏まえて、会員の皆様に更に有効な会誌とすべく新たな編集方針策定に取り組みます。また、協会誌のカラー化に合わせて開始した電子版による提供について、会員への周知を進めて一層の定着を図るとともに、更なる検索対象の拡大や機能改善に努めていきます。
- (2) HP は協会の部外への窓口として重要なツールですが、ここ 10 年間に渡り見直しは行われていません。今年度は「使いやすさ」「協会活動の的確かつタイムリーな伝達」「維持管理の効率化」「将来機能対応」を基本とするHPへ全面的な改修を行います。
- (3) 鉄道総合技術講演会、鉄道施設技術発表会および用地・協議業務研究会については、新型コロナ感染症の状況を踏まえて、昨年実施したオンラインでの実施を含めて最適な形態で実施するとともに、より多くの会員が聴講できるオンラインライブ配信を行い、有効な情報発信に努めます。
- (4) 若手会員を対象として昨年より協会誌に掲載を開始した「新資格ゼミナール」をはじめとする資格取得支援を更に充実し、資格取得や技術力向上のための会員の取り組みを支援するとともに、時代にマッチした e ラーニング を活用したシステムの導入の検討を進めます。
- (5) 会員、特に、若手会員向けの情報交換の場として各講演会開催や各支部活動の一層の充実を図っていきます。

### 2. 協会の公共性の有効活用への取り組み

- (1) 保安事業部では、講習会実施において昨年同様、新型コロナ感染拡大につな

がらないように万全の体制で臨むとともに、工事従事資格の継続性を確保し円滑な工事実施に支障しないように、委託者及び受講会社等と連携して取り組みを進めていきます。

- (2) 保安講習事業の基幹システムである「保安講習会管理システム」については前年度導入した札幌事務所のシステム等の定着をはじめ全事務所の定着に取り組み、利用者の保安講習会申込み手続きの簡素化等サービス向上に取り組んでいきます。
- (3) 民鉄では新たな資格講習会の受託に取り組むとともに、その拡大を有効に活かして鉄道事業者の安全と安定輸送に貢献していきます。また、現在民鉄から受託している保安講習に保安講習会管理システムを開発、導入し、利用者の申し込み手続きの効率化等、サービス向上を進めます。
- (4) 新型コロナウイルス感染症拡大を機に一部で開始したオンライン講習会等については、委託先等との意見調整等を踏まえて、その導入拡大及び機能充実を進めていきます。
- (5) 昨年認可された軌道工事における外国人技能実習制度は今年度が運用初年度となります。試験実施機関としての体制構築及び規程類の整備等を進め、本格実施に向けて取り組みます。
- (6) 線路技術は公的な資格として確立されていない状況を鑑み、関係会員からの要請を受けてその公的資格化に向けて取り組みます。鉄道事業者向けの公的資格への足掛かりとして昨年度協会の資格として見直し関東民鉄等まで拡大実施した技術検定については、今年度は関西民鉄をはじめとして更なる拡大に取り組みます。また、工事施工者の資格についても関係者との打ち合わせを踏まえて検討の深度化を図っていきます。
- (7) 叙勲について、特に民間企業からの選出については協会の重要な役割の一つとして取り組んでいます。今後も鉄道施設の従事員のモチベーション向上のために、支部等との連携強化を一層進めて、より多くの推薦、確保を目指します。

以上のような会員にとって有効な取り組みの充実により、会員の皆様からの支援の指標であるとともに協会の貴重な財務基盤である会員数について、普通会员については一万人超を目指します。

計画の内容は、以下のとおりです。

## 1 総会・委員会等

- (1) 通常総会
- (2) 支部総会
- (3) 理事会
- (4) 相談役・顧問会
- (5) 委員長会
- (6) 企画委員会
- (7) 財務委員会
- (8) 保安事業委員会
- (9) 叙勲及び表彰選考委員会
- (10) 功績賞等選考委員会
- (11) 協会誌編集委員会  
企画、用地・協議、線路、土木、鉄道工事と安全各分科会
- (12) 論文賞等選考委員会
- (13) 保安賞選考委員会
- (14) 支部長・幹事長会議
- (15) 支部事務局連絡会議

## 2 行事

- (1) 総合技術講演会（保線、調査・計画、建造物検査、土木工事施工）
- (2) 鉄道施設技術発表会（保線、土木）
- (3) 用地・協議業務研究会
- (4) 鉄道施設関係者新年懇親会（2団体共催）
- (5) 講演会、見学会等

## 3 調査等受託

- (1) 鉄道技術検定業務
- (2) 鉄道土木構造物アセットマネジメント検討委員会
- (3) 鉄道の土木技術基準に関する調査
- (4) 鉄道防災検討会

## 4 保安関係講習会

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| (1) 工事管理者（在来線）   | (7) 特殊運転者（新幹線MC）  |
| (2) 工事管理者（新幹線）   | (8) 特殊運転者（MTT）    |
| (3) 軌道工事管理者（在来線） | (9) 軌道作業責任者（在来線）  |
| (4) 軌道工事管理者（新幹線） | (10) 軌道作業責任者（新幹線） |
| (5) 重機械運転者       | (11) 省令10条教育等     |
| (6) 特殊運転者（MC）    | (12) 列車見張員その他     |

## 5 刊行

- (1) 日本鉄道施設協会誌